

諫早総合病院地域医療支援病院運営委員会・地域協議会

令和7年度 第4回会議議事録

日時：令和8年2月12日（木） 14：00～15：00

会場：諫早総合病院 6階大会議室

書記：総務企画課 山田 ちから

○参加者 別紙資料のとおり（院外8名・院内4名・事務局3名）

《議事》

(1) 紹介率・逆紹介率について…1～11頁

紹介率について、10～12月の平均が12.2%減少。

紹介患者の数は、10、11月で前年より減少し、12月は増加。

診療科別では、内科が前年より大きく増加。消化器内科、小児科、耳鼻咽喉科、産婦人科は減少傾向。

逆紹介率は、10～12月の平均が前年より4.5%減少。

逆紹介患者の数は、10～12月で前年より増加。

診療科別では、内科、消化器内科、外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科が前年より大きく増加。小児科、歯科口腔外科は前年より減少傾向。

(長郷院長)

紹介状なしのウォークインや直接来院での初診患者が増加傾向のため、紹介患者数は前年と変わらないが、紹介率は減少。

内科の件数増加は、総合診療科医の増員が要因。

小児科の減少については、アレルギー専門医の開業等の影響が考えられる。

(2) 救急患者・外来患者について…12～19頁

全体の救急患者数は、前年より減少。10月が▲3件、11月が4件、12月が▲11件。→インフルエンザ大量発生がなかったため、12月の件数減。

ウォークインの件数は、前年度と比較して10月が4件、11月が1件、12月が▲26件。

救急車来院の件数は、10月が▲7件、11月が▲5件、12月が15件。

救急患者の入院割合は減少傾向。→入院するほどではない患者が多かった。

時間外の時間帯別来院患者数の10～12月の平均患者数は、

平日早朝が14.7人、平日夜間が101.3人、平日深夜が56.3人。
休日早朝が14人、休日昼間が136.7人、休日夜間が60.7人、休日深夜が37.7人。

諫早市内外の時間外の時間帯別来院患者数の平均患者数は、

平日早朝が市内で12.3人、市外2.3人。

平日夜間が市内で85.3人、市外で16人。

平日深夜が市内で45.3人、市外が11人。

休日早朝が市内で11.3人、市外が2.7人。

休日昼間が市内で110人、市外で26.7人。

夜間休日が市内で47.7人、市外で13人。

深夜休日が市内で30.7人、市外で7人。

1日の平均外来患者数は、10月が18.1人、11月が38.8人、12月が17.2人。

(長郷院長)

外来患者に関しては減らすようにしているが減らない。

(長郷院長)

薬局は土日開けてもらっているみたいですが。

(堀)

基本当番制で回している。

(中尾)

救急で来て半分くらい帰っている。#7119の利用は広がっていますか。

(岩岡)

令和7年度の件数が諫早市・雲仙市では減っているので、#7119の効果ができているのではないかと感じている。

(長郷院長)

独居の方は難しいだろうが、トリアージでの問題も起きている。

(森)

安心して過ごせるなど感じているので、皆様のおかげかなと。

(川下)

こちらにかかりつけの病院から救急車で行くようにと言われ、実際に運ばれましたが、連携がよくとれているなど感じました。

(3) 共同利用について…20頁

7月～9月の開放病床の利用率は1.6。

CTの利用数は、前年と大差なし。

MRIの利用数は、前年と大差なし。

(4) 諫早市こども準夜診療センターについて…21～22頁

来院患者数は、前年より減少。

(長郷院長)

去年はインフルエンザの患者さんが多く、今年はインフルエンザの影響が少なかった。

(5) 患者相談実績について…23頁

退院調整に関わる相談件数は、入院ベッドの稼働状況に応じて件数が変化している。

(長郷院長)

病院で下り搬送をしているので、救急隊への負担も減っているのではないかと。

(岩岡)

以前に比べると数は減少しているのかなと。

(6) 研修会開催状況について…24頁

認定看護師による院外関係者向けのWeb研修、出前講座を実施中。

また、市民向けに健康講座を開催しています。

3月5日開催予定。(認知症患者さんのお金に関すること)

(7) その他

(中尾)

諫早市はよくて、諫早市以外は大変というような状況でしょうか？

(猪俣)

長崎市内はひっ迫している。みなとメディカルと救急体制について協議中。

(中尾)

訪問看護について、地域に24時間体制が少ない訪問看護ステーションが少ないなどの問題はあるのでしょうか。

(土井)

24時間対応の訪問看護ステーションは、諫早市内はそれなりにあるため、恵まれているのかなと。

(中尾)

長崎医療センターはDNRの問題があるみたいですが、諫早病院はどうですか。

(長郷院長)

当院も時々あると思うが、まだ積極的にこの問題には取り組んでいない。

諫早市がACPについて積極的に取り組んでいる。

救急で来た時に、本人がそういったもの準備できてればと思う。

(金森)

ニュータウンにいるが、閉院が多い。開業をする一般の先生が少ないのが問題だと思う。

(長郷院長)

その件は総合診療科の医師を増やしていかないといけない。国や県に働きかけていかないといけない。

以上